

令和元年度（平成30年度事業対象）

大洗町の教育に関する事務管理及び  
執行状況の点検・評価報告書

大洗町教育委員会



— 目 次 —

第1 点検・評価の概要	.....	1
1. 趣旨		
2. 点検・評価の対象		
3. 点検・評価の方法		
4. 大洗町教育委員会評価委員名簿		
5. 評価委員会実施日		
第2 教育委員会の活動状況	.....	3
1. 大洗町教育委員会について		
2. 教育委員会会議の開催状況について		
3. 平成30年度教育委員会の予算・決算状況について		
4. 主な教育委員会の活動状況について		
第3 教育委員会事務事業の点検・評価シート	....	14
1. 豊かな人間性をつちかう教育の推進 (No.1～6)		
2. 確かな学力を身に付ける教育の推進 (No.7)		
3. 健康な心と体を育てる教育の推進 (No.8～10)		
4. 学校・家庭・地域の連携 (No.11)		
5. 社会の変化に対応した教育の充実 (No.12～13)		
6. 質の高い教育環境の整備 (No.14～17)		
第4 評価委員からの総合評価・意見	.....	49

## 第1 点検・評価の概要

### 1. 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。)により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表することが義務づけられています。

本報告書は、地教行法第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、平成30年度における大洗町教育委員会の事務事業の点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2. 点検・評価の対象

大洗町教育振興基本計画に基づき、平成30年度に実施した教育委員会の活動の状況及び主要施策とします。

### 3. 点検・評価の方法

大洗町教育委員会の主要施策について、事務事業ごとに自己評価を行ったうえ評価シートを作成し、大洗町教育委員会評価委員より評価シートをもとに意見・助言をいただきました。

#### 4. 大洗町教育委員会評価委員名簿

任期:平成31年4月1日～令和2年3月31日

氏 名	役 職 等
生 越 達	茨城大学 教授
平 山 洋 美	元学校長

※敬称略

##### 大洗町教育委員会評価委員規則

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、大洗町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うに当たって、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、大洗町教育委員会評価委員（以下「委員」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について意見を述べ、又は助言を行うこと。
- (2)前号に掲げるもののほか、必要と認める事項

(定数等)

第3条 委員の定数は、2人以内とする。

- 2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

#### 5. 評価委員会実施日

①令和元年10月15日(火)

②令和元年11月13日(水)

## 第2 教育委員会の活動状況

### 1. 大洗町教育委員会について

大洗町教育委員会は、(地教行法第4条第1項・第2項により)町長が町議会の同意を得て任命した教育長及び4名の委員をもって組織されています。また、(地教行法第4条第5項により)委員には保護者が含まれるようにしています。

平成27年度から地教行法の改正により、教育委員会を代表する教育委員長と事務局を統括する教育長が一本化されました。よって、教育長が、教育委員会会議の主宰や事務の執行、事務局の指揮監督など、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなります。

平成30年度 大洗町教育委員会

職 名	氏 名	就 任 日
教 育 長	飯 島 郁 郎	地教行法の改正により 平成27年 4月1日就任
委 員	會 澤 治	平成25年10月1日就任 平成27年 4月1日 教育長職務代理者就任
委 員	岡 部 千 草	平成29年10月1日就任
委 員	伊 藤 雅 彦	平成26年10月1日就任
委 員	下 山 一 仁	平成26年10月1日就任

## 2. 教育委員会会議の開催状況について

教育委員会の会議においては、大洗町教育委員会事務委任規則第2条各号に掲げる事務や、特に協議を要する事項について審議し決定します。そのほかについては教育長にその事務を委任しています。

教育委員会の会議には定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて開催しています。平成30年度は、定例会を計12回開催しました。

教育委員会会議	開催回数	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
定例会	12回	24件	2件	24件	0件
臨時会	0回	0件	0件	0件	0件

### ○定例会議内容

年 月	議 事 内 容
平成30年4月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町教育委員会事務局組織規則の一部改正について</li> <li>・ 大洗町教育委員会臨時職員の給与に関する取扱要項の一部改正について</li> <li>・ 大洗町立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部を改正する規則</li> <li>・ 大洗町教育認定子どもに係る私立幼稚園及び認定こども園の利用者負担額に関する規則の一部を改正する規則</li> <li>・ 大洗町学校薬剤師の委嘱について</li> <li>・ 社会教育委員委嘱について</li> <li>・ 大洗町公民館運営審議委員委嘱について</li> <li>・ 大洗町文化財保護審議会委員の委嘱について</li> <li>・ 大洗町史跡調査検討委員の委嘱について</li> <li>・ 大洗町スポーツ推進委員の委嘱について</li> </ul>
	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> <li>・ 区域外就学申請の承諾について</li> <li>・ 区域外就学届出(私立)の承認について</li> <li>・ 寄附受け入れについて</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第21回大洗町近郊中学校バスケットボール大会について</li> </ul>

平成30年5月	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> <li>・ 寄附受け入れについて</li> </ul>
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後科学教室事業について</li> <li>・ 平成30年度公民館基礎講座受講者数について</li> <li>・ 第21回大洗町近郊中学校バスケットボール大会の結果について</li> <li>・ 第2回ひぬま夏海マラソン大会について</li> </ul>
平成30年6月	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について</li> </ul>
	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度大洗町奨学生について</li> </ul>
	<b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校訪問について</li> <li>・ 学校閉庁日の設定について</li> <li>・ 北海道洋上体験学習事業について</li> <li>・ 水泳教室事業について</li> <li>・ いきいき茨城ゆめ国体「花いっぱい運動」について</li> <li>・ いきいき茨城ゆめ国体「ビーチバレー・リハーサル大会」の開催について</li> </ul>
平成30年7月	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成31年度小・中学校において使用する教科用図書(特別の教科 道徳を含む)並びに小・中学校特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書について</li> <li>・ 大洗町立中学校に配置する運動部活動指導員設置要綱について</li> <li>・ 大洗町立中学校 運動部活動の活動方針について</li> <li>・ 大洗町教育委員会評価委員の委嘱について</li> <li>・ 磯節の大洗遺産認定について</li> </ul>
	<b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> <li>・ 準要保護児童生徒の新規認定について</li> </ul>

	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回ひぬま夏海マラソンの実施報告について</li> <li>・ 第23回石井藤吉郎杯中学校野球大会について</li> </ul>
平成30年8月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について</li> </ul>
	<p><b>【協議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(案)について</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海っ子・山っ子交流事業について</li> <li>・ 芸術文化祭について</li> <li>・ 友好都市交流事業 サイクリング in 那須町</li> <li>・ いきいき茨城ゆめ国体「ゴルフ競技・リハーサル大会」の開催について</li> </ul>
平成30年9月	<p><b>【協議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(案)について</li> </ul>
	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗町教育委員会委員の任命について</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果報告について</li> <li>・ 通学合宿事業について</li> <li>・ 明治維新 150 年記念展覧会「水戸と明治維新の先人たち～光圀・斉昭・龍馬・西郷どん・そして明治維新～」について</li> <li>・ 大洗町民スポーツフェスティバルについて</li> </ul>
平成30年10月	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「第43回大洗町芸術文化祭」について</li> <li>・ 埋蔵文化財企画展「太平洋を見下ろす大洗の王墓」について</li> </ul>
平成30年11月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について</li> <li>・ 大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について</li> </ul>

	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承認について</li> <li>・ 寄附受け入れについて</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成31年成人式について</li> <li>・ 第73回三浜駅伝競走大会について</li> </ul>
平成30年12月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 善行青少年の審査について</li> </ul>
	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準要保護児童生徒の新規認定について</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大洗音楽祭2019について</li> <li>・ 文化財防火デーについて</li> <li>・ 埋蔵文化財企画展『太平洋を見下ろす大洗の王墓』の結果について</li> <li>・ 第73回三浜駅伝競走大会の結果について</li> <li>・ 第36回大洗マラソンサンビーチマイルレースの開催について</li> <li>・ 明治維新150年記念展覧会「水戸と明治維新の先人たち～光圀・斉昭・龍馬・西郷どん・そして明治維新～」の結果について</li> </ul>
平成31年 1月	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承諾について</li> <li>・ 区域外就学届出(私立)の承認について</li> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度卒業式・平成31年度入学式の日程について</li> <li>・ 太鼓の祭典2019について</li> </ul>
平成31年 2月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について</li> <li>・ 平成31年度大洗町一般会計予算(教育費関係)に対する意見について</li> <li>・ 大洗町教育委員会臨時職員の給与に関する取扱要項の一部改正について</li> </ul>

	<p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承認について</li> <li>・ 区域外就学届出(私立等)の承認について</li> <li>・ 指定校変更許可申請の許可について</li> <li>・ 準要保護児童生徒の継続認定について</li> <li>・ 寄附受け入れについて</li> </ul>
	<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第20回アニバーサリー生涯学習フェスティバルについて</li> <li>・ 大洗落語会の開催について</li> <li>・ 第19回全国体操小学生大会の開催について</li> <li>・ 第3回ミュージアムコンサートについて</li> </ul>
平成31年 3月	<p><b>【議案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成31年度教職員の人事異動の内申について</li> </ul> <p><b>【報告】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域外就学申請の承認について</li> <li>・ 区域外就学届出(私立)の承認について</li> <li>・ 準要保護児童生徒の新規認定について</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員定期異動辞令交付式について</li> </ul>

### 3. 平成30年度教育委員会の予算・決算状況について

平成30年度教育費(歳出)の当初予算額及び決算額等については、次のとおりです。

- ・教育費の当初予算額は13億3,724万円であり、町一般会計歳出予算に占める割合は14.9%となっています。(予算現額は13億1,053万4千円)
- ・教育費の決算額は12億4,942万8千円であり、町一般会計決算額に占める割合は15.6%となっています。教育費予算現額に対する執行率は、95.3%です。
- ・平成30年度の町民1人あたりの教育費は74,233円です。  
また、児童生徒1人あたりの教育費は、102,720円(小学校)、201,570円(中学校)です。

#### ○ 町当初予算に占める教育費の割合の推移

(千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町予算総額	8,960,000	8,150,000	8,312,000
うち教育費	815,853	976,649	1,237,240
割合	9.1%	12.0%	14.9%

- ・平成30年度教育費は、南小中学校共用体育館の工事費等により町予算総額に占める割合が例年と比べ大きくなっています。

#### ○ 平成30年度教育費予算額

(千円)

項	当初予算額	補正予算額	繰越額	予算現額
教育総務費	755,417	△3,580	53,918	805,755
小学校費	82,358	173	0	82,531
中学校費	97,112	1,818	0	98,930
幼稚園費	20,869	56	0	20,925
社会教育費	216,426	20,909	0	237,335
保健体育費	65,058	0	0	65,058
計	1,237,240	19,376	53,918	1,310,534

#### ○ 教育費決算額の推移

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
教育総務費	395,240	48.32%	468,091	52.53%	776,846	62.18%
小学校費	67,836	8.29%	71,197	7.99%	74,472	5.96%
中学校費	90,372	11.05%	85,284	9.57%	86,272	6.90%
幼稚園費	19,296	2.36%	18,963	2.13%	20,072	1.61%
社会教育費	196,935	24.07%	171,112	19.20%	229,411	18.36%
保健体育費	48,346	5.91%	76,412	8.58%	62,345	4.99%
計	818,025	100.00%	891,059	100.00%	1,249,418	100.00%

○ 教育費執行率の推移

(千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算現額	866,778	989,223	1,310,534
決算額	818,025	891,059	1,249,418
執行率	94.4%	90.1%	95.3%

○ 平成30年度 町民1人あたりの教育費

人口(H31.3.31現在) (人)	教育費決算額 (千円)	町民1人あたりの教育費 (円)
16,831	1,249,418	74,233

○ 平成30年度 児童生徒1人あたりの教育費(小・中学校費)

(児童生徒数:H30..5.1現在)

	児童(小学校)	生徒(中学校)	計
児童生徒数(人)	725	428	1,153
決算額(千円)	74,472	86,272	160,744
1人あたり(円)	102,720	201,570	139,414

#### 4. 主な教育委員会の活動状況について

日 程	件 名	会 場
平成30年 4月 2日 (月)	教職員辞令交付式	中央公民館
平成30年 4月 9日 (月)	小学校入学式	大洗小学校
		南小学校
平成30年 4月10日 (火)	中学校入学式	第一中学校
		南中学校
平成30年 4月11日 (水)	幼稚園入園式	祝町幼稚園
	大洗町教育研究会総会	文化センター
平成30年 5月 8日 (火)	東茨城郡教育委員会連絡協議会役員会	茨 城 町
平成30年 5月15日 (火)	奨学生選考審議委員会	教育センター
平成30年 5月18日 (金)	大洗町青少年育成会議総会	中央公民館
平成30年 5月22日 (火)	奨学生面接審査会	役場会議室
平成30年 5月25日 (金)	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会	静 岡 県
平成30年 5月26日 (土)	小学校運動会	大洗小学校
		南小学校
平成30年 5月28日 (月)	茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会	水戸市総合 教育研究所
平成30年 5月30日 (水)	東茨城郡教育委員会連絡協議会総会及び研修会	茨 城 町
平成30年 6月 3日 (日)	第2回ひぬま夏海マラソン	大洗町総合運動公園
平成30年 6月 5日 (火)	第1回教科用図書選定協議会	文化センター
平成30年 6月 8日 (金)	奨学生承認書授与式	役場会議室
平成30年 7月 5日 (木)	第2回教科用図書選定協議会	文化センター
平成30年 8月25日 (土) 平成30年 8月26日 (日)	第23回石井藤吉郎杯中学校野球大会	総合運動公園

日 程	件 名	会 場
平成30年 9月 8日 (土)	中学校体育祭	第 一 中 学 校
		南 中 学 校
平成30年 9月17日 (月)	敬老会	文 化 セ ン タ ー
平成30年10月 3日 (水)	茨城県市町村教育委員会教育委員研修会	ホ テ ル レ イ ク ビ ュ ー 水 戸
平成30年10月 6日 (土)	祝町幼稚園運動会	祝 町 幼 稚 園
平成30年10月 8日 (月)	大洗町民スポーツフェスティバル2018	総 合 運 動 公 園
平成30年10月15日 (月)	市町村教育委員会研究協議会	山 口 県
平成30年10月16日 (火)		
平成30年10月17日 (水)	新任教育長及び教育委員並びに新任職員研修会	水 戸 市 総 合 教 育 研 究 所
平成30年10月18日 (木)	東茨城郡教育委員会連絡協議会役員会	中 央 公 民 館
平成30年10月24日 (水)	茨城県市町村教育委員会連合会第1回理事会	水 戸 市 総 合 教 育 研 究 所
平成30年10月29日 (月)	南小中学校共用体育館竣工式	南小中 共 用 体 育 館
平成30年11月 7日 (水)	教育委員訪問	祝 町 幼 稚 園
平成30年11月 9日 (金)	小中連携実践発表会	大 洗 小 学 校
		第 一 中 学 校
平成30年11月10日 (土)	大洗町民の日記念の集い	文 化 セ ン タ ー
平成30年11月12日 (月)	東茨城郡教育振興大会	文 化 セ ン タ ー
平成30年11月21日 (水)	教育委員学校訪問	大 洗 小 学 校
		第 一 中 学 校
平成30年11月23日 (金)	大洗町立南中学校教育実践研究発表会	南 中 学 校
平成30年12月 2日 (日)	第73回 三浜駅伝競走大会	ひ たち な か 市 大 洗 町
平成30年12月 4日 (火)	奨学生選考審議委員会	教 育 セ ン タ ー
平成30年12月12日 (水)	教育委員学校訪問	南 小 学 校
		南 中 学 校
平成30年12月21日 (金)	町教育研究会発表会	文 化 セ ン タ ー

日 程	件 名	会 場
平成31年 1月13日(日)	大洗町成人式	文化センター
平成31年 1月17日(木)	大洗町賀詞交換会	大洗シーサイドホテル
平成31年 1月20日(日)	大洗音楽祭2019	文化センター
平成31年 2月 3日(日)	第36回大洗マラソン サンビーチ・マイルレース	大洗サンビーチ
平成31年 2月20日(水)	大洗町善行賞授与式	文化センター
平成31年 2月20日(水)	茨城県市町村教育委員会連合会第2回理事会	水戸市総合 教育研究所
平成31年 3月 3日(日)	生涯学習フェスティバル	文化センター
平成31年 3月13日(水)	中学校卒業式	第一中学校
		南中学校
平成31年 3月15日(金)	祝町幼稚園卒園式	祝町幼稚園
平成31年 3月19日(火)	小学校卒業式	大洗小学校
		南小学校
平成31年 3月29日(金)	教職員定期異動辞令交付式	中央公民館

### 第3 教育委員会事務事業の点検・評価シート

基本の方針	No.	事業名	担当課	ページ
豊かな人間性をつちかう 教育の推進	1	広島平和大使派遣事業	学校教育課 指導室	15
	2	教育相談体制の充実事業 (教育センター設置事業)	学校教育課 教育センター	17
	3	生涯学習フェスティバル	生涯学習課 社会教育係	19
	4	町民会館自主事業	生涯学習課 文化振興係	21
	5	明治維新150年記念展覧会事業 「水戸と明治維新の先人たち—光圀・斉昭・龍馬・ 西郷どん・そして明治維新—」	生涯学習課 博物館管理係	23
	6	ミュージアムコンサート 明治維新150周年記念コンサート ～歌により明治から150年の時代を振り返る～	生涯学習課 博物館管理係	25
確かな学力を身に付ける 教育の推進	7	非常勤講師配置事業	学校教育課 指導室	27
健康な心と体を育てる 教育の推進	8	大洗マラソンサンビーチマイルレース事業	生涯学習課 スポーツ振興係	29
	9	第74回国民体育大会推進事業	生涯学習課 国体推進室	31
	10	就学時健康診断事業	学校教育課 学校教育係	33
学校・地域・家庭の連携	11	三人寄れば文殊塾	生涯学習課 社会教育係	35
社会の変化に対応した 学習機会の充実	12	大洗サイエンスカレッジ事業	学校教育課 学校教育係	37
	13	埋蔵文化財企画展事業	生涯学習課 文化振興係	39
質の高い教育環境の整備	14	南小中学校共用体育館建設事業	学校教育課 学校教育係	41
	15	通学路の安全点検事業	学校教育課 学校教育係	43
	16	大洗町奨学資金給付・貸付事業	学校教育課 学校教育係	45
	17	図書室運営事業	生涯学習課 社会教育係	47

平成30年度 点検評価シート

No. 1

事務事業名	広島平和大使派遣事業	担当課	学校教育課
-------	------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	3	就学前教育・学校教育の充実
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	被爆地である広島市の平和記念式典に参列し、戦争の悲惨さを後世に伝える意義と平和を尊ぶ思いを確認すると共に、そこで学んだことを各学校及び町内に報告することで、町内の中学生が戦争や核兵器のない未来を築いていこうとする心を育む。
事業の対象 (誰を・何を)	対 象: 大洗町立中学校に通う中学生 参加者: 各中学校男女各1名の計4名
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( ) 毎年8月6日に行われる平和記念式典(広島市原爆死没者慰霊式)に、大洗町の平和大使として参列する。大使は町内の中学生を対象に募集し、作文により4名を選考する。事前活動として、広島への原爆投下に関する調べ学習、事後活動として、平和新聞の作成や町広報誌への寄稿、自校生徒への報告会、町民の日の記念集会で代表者が作文発表等の報告を行い、町民への啓蒙を図る。 引率者: 教育委員会(田村指導室長補佐)、南中(寺門校長)、第一中(小田嶋教諭)
事業の成果 (意図する成果)	事前活動や事後活動、平和記念式典に参列することが、進んで平和な社会を築いていこうとする態度を養う機会となる。 大洗町を代表して平和記念式典に参列することにより、核兵器廃絶を世界に呼びかける広島市と大洗町との絆を深める役割を果たすことができる。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	870千円	620千円	669千円	
	決算額(千円)	786千円	590千円	603千円	
	内訳	一般財源	786千円	590千円	603千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)	90.3%	95.2%	90.1%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	事前活動	7月1日～8月4日	7月3日～8月4日	7月2日～8月4日
	本学習	8月5日～8月7日	8月5日～8月7日	8月5日～8月7日
	事後活動	8月8日～10月31日	8月8日～10月31日	8月8日～10月31日
成果指標	参加者数(代表生徒)	4名	4名	4名
効率指標	一人あたりの経費	98千円	84千円	86千円

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		被爆地である広島市を訪れ、平和公園内を見学したり平和記念式典に参列したりすることを通して、戦争の悲惨さや平和の大切さを確信することができた。また、学んだことを各学校及び町内に報告することにより、戦争や核兵器のない未来を築いていく大切さを啓発することができた。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		事前に調べ学習を行ったが、現地で平和公園内のモニュメントを見たり、被爆体験記を聞いたり、記念館内の資料を見学できたことで、想像以上に悲惨な現状であったことを理解することができた。さらに、後日行った自校での報告会でも、体験したことを真剣に生徒達へ伝えることができた。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		広島市への派遣は、宿泊費や交通費等が必要になるが、代表の生徒にとっては貴重な体験となり、そこで学んだことを校内や町内に広めることは大きな意義がある。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○世界的に見ても格差社会が進行し、人間存在の共同性が見失われつつある状況において、平和教育の重要性はますます大きくなってきている。そうした状況で、これからの社会の担い手である生徒が原爆被爆地である広島での平和記念式典に参加することは意味深い。さらに重要なのは事後活動である。本事業においては、平和新聞の作成や町広報誌への寄稿等、町民に対する啓発活動を充実させており、高く評価できる。今後は、より事後活動を充実させ、大洗町を平和の町として知らしめるような事業にしていだけたらと考える。

○町内中学生が平和大使として広島市における平和記念式典へ参列し、その体験等を各学校での報告会や「町民の日」の記念集会で行う報告発表は、中学生の体験にとどまらず、児童生徒、保護者や地域住民にとっても、「平和とは何か」「平和的な社会を築く大切さ」を、身近な事から真剣に考え、探究していくことにつながり高く評価できる。

平成30年度 点検評価シート

No. 2

事務事業名	教育相談体制の充実事業(教育センター設置事業)	担当課	教育センター
-------	-------------------------	-----	--------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	3	就学前教育・学校教育の充実
根拠法令等	大洗町教育センター設置要綱		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	教育センターに相談員・臨床心理士(随時)を配置し、児童生徒や保護者、教員への相談や支援の充実を図り、それらをとおして、幼児・児童生徒の発達上の課題や学校不適応等の諸問題に対応することを目的としている。
事業の対象 (誰を・何を)	幼児・児童生徒や保護者、教員等
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>①親と子どもの相談室(電話相談・来所相談)及び適応指導教室の開設(「すくすくなぎさ」)                  ②学校現場から研修生の受け入れ(H30年度はなし)                  ③関係課・機関との連携と、サポートチームによる支援(健康増進課、こども課)                  ④保護者・関係機関(幼・保育園(所)・小学校・中学校・健康増進課)への啓発(パンフレット・広報誌等)</p>
事業の成果 (意図する成果)	<p>①悩みや不安等、様々な問題を抱える児童生徒や保護者(幼児保護者を含む)、教員への相談支援体制の充実を図ることができる。                  ②適応指導教室での個別対応により、児童生徒のニーズに添った指導助言や生活指導等を図り、再登校につなげていける。                  ③相談しやすい環境づくりにより、問題の早期発見、解決に向けた取組につなげていける。                  ④関係機関との連携をとおして、多面的に改善の取り組みができる。(健康増進課・こども課)</p>

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	9,780千円	10,437千円	9,170千円	
	決算額(千円)	8,926千円	8,524千円	8,765千円	
	内訳	一般財源	8,926千円	8,524千円	8,765千円
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	—
執行率(%)	91.3%	81.7%	95.6%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	電話相談の状況(累計件数)	182件	45件	31件
	来所相談の状況(累計件数)	813件	218件	429件
	(再掲:不登校関係)	880件	263件	460件
成果指標	学校への復帰状況	5人/7人	4人/4人	3人/4人
	相談員研修会の実施状況	4回/年	4回/年	4回/年
	教職員等との連絡会議実施状況	10回/年(幼保小中)	5回(小中)	5回(小中)
効率指標	相談員の配置状況	7名(2~3名/日)	7名/(2~3名/日)	8名/(2~3名/日)
	幼児教育アドバイザー	1名(3日/週)	1名(1日/週)	1名(1日/週)
	研修生	—	—	—

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	今年度の電話相談及び来所相談の総数は460件で、内訳は幼児4件・小学校192件・中学校250件・その他4件であった(保護者及び教員も含む)。小学校入学後の不安から就学前児童保護者の相談もあり、小学校及び中学校の保護者の相談も増えている。不登校児童生徒一人一人に対する細やかな相談・指導に当たっており、本事業の妥当性は高い。	
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている B. 概ね上がっている C. 上がっていない 対象児童生徒に対しては継続的な相談活動により、生徒の生活行動にも大きな変容が見られている。教育委員会指導室との相談業務及び学校の生徒指導担当者との情報交換等(電話連絡や文書報告も含む)も増やすことができ、連携を密に行うことができた。学習支援及び人間関係支援に計画的・継続的に取り組み、今年度は来所していた児童生徒3名が学校に戻ることができた。	
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である B. 概ね効率的である C. 効率的でない ケースごとに個々の相談員が対応するとともに、必要に応じて関係機関や生徒指導担当教員と情報交換を行い、継続的に支援に当たっている。特に、相談員が元教員ということで、学習支援の面で効率的に成果を上げている。保護者や学校との連携も密に行なったことが成果へとつながっており効率性も高い。(相談員5名は教員経験者、臨床心理を学ぶ大学院生2名)	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	⇒	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了		

【評価委員の意見】

○発達障害をはじめとする子育ての困難を抱えた保護者が増え、しかも孤立する家庭が増える状況において、多様な相談場所を用意しておくことは重要な意味をもっており、本事業の活動は高く評価できる。今後も、大洗町が小さな町であることのメリットを活かし、日常的に相談できる環境づくりに努めてほしい。

○様々な問題を抱える児童生徒や保護者、教師にとって、問題の解消に向かい共に考え寄り添ってくれる相談室の充実重要である。受け入れ対象も幼児から中学生までの児童生徒や保護者等と幅広く、相談は前年度の倍の件数になり、不登校児童生徒4人中3人の学校復帰がなされていることを高く評価する。今後、来所できない児童生徒への訪問指導などの対応は困難であろうか。

平成30年度 点検評価シート

No. 3

事務事業名	生涯学習フェスティバル	担当課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進
	施策	1	豊かな心育成の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	公民館講座をはじめとする生涯学習活動を実践するグループや団体の皆さんが一堂に会し、1年間の活動の成果を発表するとともに生涯学習の取り組みを町民に広く伝え、生涯学習への関心を持っていただくことで公民館を積極的に活用し、町民の生きがいがづくりの取り組みを進める。
事業の対象 (誰を・何を)	公民館等の利用者
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>公民館を中心に活動する公民館講座や自主グループが、自らの活動を広く町民の皆様にご覧いただくため、毎年3月の第一日曜日に文化センター大ホールや中央公民館を主会場に実施。体験コーナーや展示コーナー、ステージでの発表など各部門一人ひとりの自主的な参加による手作りのイベントとなっている。H30年度については、第20回のアニバーサリーとして通常の発表のほか、大洗サイエンスカレッジ～スライムをつくろう～、国際交流員によるイギリスクラフト教室、茨城県県民球団ASTRO PRANETSによるストラックアウト体験、ノスタルジー大洗2019～大洗を歩こう～など多様な取り組みを実施した。</p>
事業の成果 (意図する成果)	あらゆる年齢層の人が、生涯学習や体験活動を通して自ら学び、その成果を地域で発表することにより、引いては、それを見た来場者が活動に関心を持ち、趣味・教養を高めることができ、生涯学習へ繋がる。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	235千円	235千円	357千円	
	決算額(千円)	215千円	321千円	438千円	
	内訳	一般財源	215千円	321千円	438千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)		91.5%	136.6%	122.7%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	参加団体数	54団体	54団体	54団体
	うち発表数(文化Cステージ)	14団体	13団体	15団体
	うちブース数(展示・体験・物食販)	40団体	41団体	39団体
成果指標	来場者数(延べ)	1500人	1400人	1600人
効率指標	決算額に占める参加団体当たりの経費	3,981円	5,944円	8,111円

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		公民館講座をはじめとする生涯学習活動を行うグループや団体の皆さんの1年間の活動の成果を発表するとともに、広く生涯学習の取り組みを知っていただく機会であり、この日为目标に学習に取り組んでいる団体も多い。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		気軽に活動に参加する体験コーナーや実際に目の前で発表される成果に触れていただくことは、発表者にとっても来場者にとっても普段の活動を発表し、より分かりやすく理解していただく上でよい機会である。H30年度については、20回目の生涯学習フェスティバルとなり、来場者数も大きく増えた。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		年に1度、3月第一日曜日の1日だけの発表の機会ではあるが、この日为目标に各講座や自主グループにおいて学習のスケジュールを決め 取り組まれており、また費用面から見ても対効果の高い事業である。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等

【評価委員の意見】

<p>○生涯学習社会の到来する現代において、主体的な学びを支援しようとする本事業の重要性は高い。地域づくりにとっても重要な事業である。平成30年度は、20周年記念ということで、例年より予算をかけ実施されたが、これからも活動の充実に向けて工夫をしてほしい。</p> <p>○1年間、自らの意志で学び活動してきた取り組みと成果を、公民館や文化センターなどを活用して体験や展示、ステージ発表など、自分たちのアイデアを生かしながら、自分たちの手で効果的に幅広い年齢層に発信することは、自身の活動の振り返りになり、次年度の活動意欲につながり高く評価できる。</p>
---

平成30年度 点検評価シート

No. 4

事務事業名	町民会館活用事業(大洗落語会)	担当課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等	大洗町民会館の設置及び管理に関する条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	町民が様々な文化に触れ親しみ、鑑賞することができる環境づくりを行い、大洗町の文化振興と地域の活性化を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町民・町外者
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>3月10日(日曜日)に実施。今回の事業では、林家木久扇師匠・林家一門に出演依頼を行い、大洗文化センターで落語会を開催。料金体系は、大人2,000円・シニア/大学生1,500円・高校生以下1,000円。チケットは、生涯学習課窓口にて販売もしくは江口又新堂にて販売。町外者(遠方在住者)に対しては、FAX・Mailにて受付し、当日に現金收受・チケットを受渡。また、町内小中学校宛に、チラシ・FAX申込書を送付。</p>
事業の成果 (意図する成果)	大洗町民をはじめとした来場者に、落語という古典芸能を住民が身近に感じる事の出来る機会の提供を図れた。大人だけではなく、町内在住の児童生徒も来館し、幅広い年代が落語の世界に触れることが出来た。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	305千円	169千円	1,185千円	
	決算額(千円)	305千円	169千円	1,097千円	
	内訳	一般財源	305千円	169千円	485千円
		国県補助金	-	-	-
		その他(チケット代)	-	-	612千円
執行率(%)	100%	100%	92.6%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	出演者数	-	-	4人
成果指標	観覧者数	-	-	400人
	座席数	-	-	800席
効率指標	入館率(%)	-	-	50%
	観覧者1人あたりの経費	-	-	1,213円

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		大洗町及び大洗町教育委員会が実施主体となり、舞台専門業者の知識と経験を活用しながら運営できており、妥当である。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		大人だけではなく、町内在住の児童生徒も来館し、落語の素晴らしさを幅広い年代が体感する機会となった。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		大洗町と関わりのある噺家を介して、関係者に出演依頼を行った。謝礼金など比較的安価で済み、コスト面からみて効率的となっている。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案, 廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒
(空欄)	

【評価委員の意見】

○落語という古典芸能に関わる名前の通った方を呼び、安い出演料で落語会を開く努力をしていることは高く評価できる。ひいては大洗町を文化の町として認知してもらう第一歩になったのではないかと考える。残念なのは、800の座席数に400人の参加しかなかったことである。今後このような試みの際には、広報の時期及び方法についてさらに工夫をしていただけたらと思う。

○テレビ等でよく知られている噺家一門を招いての本事業は、古典芸能の中でも話芸という独特な演芸に身近に接し親しむよい機会となったと評価する。

平成30年度 点検評価シート

No. 5

事務事業名	明治維新150年記念展覧会事業 「水戸と明治維新の先人たち－光圀・斉昭・龍馬・西郷どん・そして明治維新－」	担当課	生涯学習課
-------	--	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等	博物館法、大洗町幕末と明治の博物館条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	平成30(2018)年は明治改元から150年という節目の年にあたるため、明治維新の原動力ともなった水戸学や水戸学の影響を受けた明治維新の立役者たちを紹介し、博物館の認知度を高め、入館者増につなげる。
事業の対象 (誰を・何を)	観光客、地域住民
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書物や書、書簡、肖像画、錦絵、拓本など当時の歴史を物語る様々な史料を展示</li> <li>・町内の中学2年生の見学会の実施</li> <li>・茨城県立歴史館歴史資料課長笹目礼子先生を講師に招いた講演会の開催</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治改元から150年という節目の年であることを理解し、近代日本の礎が築かれた幕末から明治期についての歴史について学ぶことができる。</li> <li>・水戸学が藩内の学問にとどまらず多くの人々に影響を与え、明治維新の原動力となったことが理解できる。</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	279千円	3,454千円	3,673千円	
	決算額(千円)	279千円	2,739千円	3,182千円	
	内訳	一般財源	279千円	2,739千円	—
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	3,182千円
執行率(%)	100.0%	79.2%	86.6%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	会期日数	39日間	39日間	39日間
	関連講演会	—	1回	1回
成果指標	会期中の入館者数(全体)	2,232人	3,190人	3,662人
	うち町民の入館者数	224人	359人	340人
	うち町民の小中学生の入場者数	16人	22人	170人
	会期中1日あたりの入場者数	57.2人	81.7人	93.8人
効率指標	来館者1人当たりの経費	125円	858円	868円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<p>妥当性</p> <p>(実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	<p>平成30(2018)年が明治改元から150年の節目の年であり、大洗町幕末と明治の博物館という館名にふさわしい展覧会を開催できた。2019年は秋に茨城国体の開催される予定であり、多くの人が大洗町を訪れることから地元の画家である武石堯先生の絵画展を開催する。</p>	
<p>成果</p> <p>(意図した成果が上がっているか)</p>	A	<p>明治150年ということで全国各地で関連イベントが開催されていたこともあり、期間中の入場者は3,600名を超え、ここ近年で入場者数が最も多い展覧会となった。</p>	
<p>効率性</p> <p>(コスト面等からみて効率的であるか)</p>	A	<p>近隣施設が所蔵する史料や館蔵史料で展示構成を行い、展覧会費用をなるべく抑えるように努力した。</p>	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案, 廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○郷土愛を育むためにも重要な事業である。平成30年度は、町内の中学2年生に見学会を実施し、その結果として小中学生の入場者数を大きく増やすことができたことは高く評価できる。小中学生のときから郷土愛を育むことは重要な意味をもっているからである。展覧会費を抑えながら、町内だけではなく町外の人々の入館者数を増やしていることは心強い。

○明治元年から150年という節目の年にふさわしい、幕末から明治、大正時代の史料を多く所蔵する大洗町だからこそできる事業と高く評価する。学校との連携も図られ小中学生の入場者も170人と前年の約10倍の伸びをみた。柔らかな感性を有する小中学生には、当時の史料に直接触れることで歴史上の人物と現在の自分をつなぐ貴重な体験になると考える。

平成30年度 点検評価シート

No. 6

事務事業名	ミュージアムコンサート 明治維新150年記念コンサート ～歌により明治から150年の時代を振り返る～	担当課	生涯学習課
-------	---	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等	博物館法、大洗町幕末と明治の博物館条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	博物館に気軽に訪れる機会や環境を提供し、にぎわいのある博物館活動を推進する。
事業の対象 (誰を・何を)	地域住民、芸術文化に興味のある一般の方
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京労音ギター文化館の協力を得て、演奏者(ケーナ、ギター、ヴァイオリン)を招き、博物館新館ホールにてコンサートを開催する。</li> <li>・明治改元から150年目の節目の年であるため、各時代(明治・大正・昭和・平成)の代表曲を聴くことで、歴史を振り返る。</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサートを契機として、博物館活動への関心を高めることができる。</li> <li>・各時代の代表曲から、歴史に対する興味関心を持つことができる。</li> <li>・本格的な音響施設ではないが、新館ホールでコンサートを開催することでホールの有効活用につながっており、また、結果的に本格施設に近い音響環境を利用することができる。</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	320千円	308千円	349千円	
	決算額(千円)	290千円	330千円	349千円	
	内訳	一般財源	290千円	-	-
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	330千円	349千円
執行率(%)		90.6%	100%	100%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	演奏者数	2人	3人	3人
	演奏曲数	18曲	15曲	11曲
成果指標	参加者数	140人	157人	144人
	うち町内の参加者数	71人	57人	126人
	満足度(良かった、大変良かった)	99%	100%	98%
効率指標	参加者1人当たりの経費	2,071円	2,101円	2,424円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<p>妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	<p>博物館内をコンサート会場としていることで、博物館に来館してもらうことができ、博物館活動に対する認知度を高めることができている。また、各時代を代表する曲を演奏し、時代を振り返ることで、歴史に苦手意識がある方でも、気軽に歴史を振り返ることができていた。2019年度は博物館が立地する敷地は「森林浴の森100選」にも選ばれた松林となっており、その松林を活用したコンサートを開催する。</p>	
<p>成果 (意図した成果が上がっているか)</p>	A	<p>A. 上がっている B. 概ね上がっている C. 上がっていない</p> <p>コンサートをきっかけとして初めて博物館を訪れた参加者もあり、普段は博物館活動に関心の低い層にも興味関心を持ってもらうための一助となっている。また再度の開催を求める好意的な要望や開催の度に参加されるリピーターもあり、気軽に博物館を訪れる雰囲気醸成されつつある。</p>	
<p>効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)</p>	A	<p>A. 効率的である B. 概ね効率的である C. 効率的でない</p> <p>他所では3,000～8,000円程度のコンサート料金が必要であるが、本格的な音響施設ではないことや啓発普及事業であることを鑑み、予約制とはしているが、参加費は無料としている。</p>	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	⇒	改善案, 廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了		

【評価委員の意見】

<p>○本格的施設ではないとしても、あるいは本格的施設ではないなかで工夫して、コンサートを実現させていることは高く評価できる。また博物館活動とつなげていることもすばらしい活動となる理由になっている。また大洗町らしく、無料で聴きに来ることができることもすばらしい。無料で続けることが難しければチケット代を多少とってほしいと思うので、今後もこうした活動を続けてもらえたらと思う。</p> <p>○町内の参加者が前年度に比して倍以上である。博物館におけるコンサートが町民に広く認識され、今回の演奏内容を明治、大正、昭和、平成の代表曲で構成することで、老いも若きも気軽に楽しめる機会となったことは評価できる。今後も親しみのある歴史と芸術の拠点として充実されることを期待する。</p>
---

事務事業名	非常勤講師配置事業	担当課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	2	確かな学力を身に付ける教育の推進
	施策	1	確かな学力の育成
根拠法令等	・公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律 ・市町村学校県費非常勤講師取扱要項		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	町雇用による社会人T、T及び特別支援員を配置し、個別支援が必要な特性のある児童生徒に対し、教育的ニーズに対応した支援を行うことで児童生徒の学力の向上や情緒の安定を図る。また、特別な支援を要する児童が増加している現状から、教職員の業務の偏りを解消する。
事業の対象 (誰を・何を)	・大洗町立小学校2校・中学校2校 ・大洗町立小学校に通う小学生 725人、大洗町立中学校に通う中学生 428人
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( ) 町雇用による社会人T、T及び特別支援員を各小中学校の状況に応じて配置することで、T、T(チームティーチング)や少人数指導によるきめ細やかな指導を行う。また、これらの非常勤講師の配置により教職員への支援体制を強化する。 ・社会人TT配置事業(講師人数 9人 内訳:小3人/中6人) ・特別支援員配置事業(講師人数 6人 内訳:小5人/中1人)
事業の成果 (意図する成果)	T、Tによる充実した学習指導や生活面で課題を抱える児童生徒への個別指導により、支援を必要とする児童生徒に対してきめ細やかな対応ができ、学習内容の理解促進と学校生活の安定に寄与した。個別対応は、学級全体を落ち着かせ、学習に集中できる環境づくりに繋がっている。また、特別な配慮を要する児童が増加している現状から、教職員の業務量の偏り等の課題に対応した。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	35,244千円	35,223千円	35,423千円	
	決算額(千円)	30,944千円	27,924千円	27,080千円	
	内訳	一般財源	30,944千円	27,924千円	27,080千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)		87.8%	79.3%	76.4%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	社会人T、T配置事業による講師人数	9人	11人	9人
	特別支援員配置事業による講師人数	5人	5人	6人
成果指標	全国学力学習状況調査	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	小学校国語	-7.3	-5.7	+1.2
	中学校国語	-2.6	-2.1	-0.8
	小学校算数	-8.7	-8.5	+0.4
	中学校数学	-4.9	-3	-3.8
効率指標	町講師の報償/県報償	100.0%	100.0%	100.0%
	決算額/関係児童生徒数	25,510円	23,387円	22,795円

\* 全国学力学習状況調査は、4月に実施したため、その結果は前年取組を表す指標と捉える。

\* 成果指標は、平成28年度の結果を基準にしている。

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		個別の支援を必要とする児童生徒の増加が進む中、各学校の状況や一人一人の児童生徒の特性に応じた対応をするためには、町雇用の講師職員等を配置し、適切に児童生徒を支援していくことが必要である。したがって、この事業の妥当性は非常に高い。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		○保護者へのアンケート結果(保護者758人 回収率80.9%) 質問:町非常勤講師によるきめ細やかな指導ができています。 回答:「そう思う」と回答した割合97.5% 保護者の認識は、非常に高く、児童生徒に対してきめ細やかな対応ができていくことがわかる。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		個別の支援が必要な特性のある児童生徒に対応することで、学級全体が落ち着き、授業に集中できる雰囲気が醸成されている。そのため、多くの児童生徒が、落ち着いた学校生活を送ることができたり、生徒指導上の問題を早期に発見したり、予防ができていたりしている。報酬については、県の非常勤講師職員に合わせて適切な金額といえる。本事業の教育効果は極めて高い。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input checked="" type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等
特別支援員に対しては、研修資料として「特別支援学級 スタート応援ブック 授業づくり編 第3版(茨城県教育研修センター 特別支援課 発行)を配付し、特性のある児童生徒に対する指導についての研修材料にしてきた。今後は、特別支援員と同様に、社会人TTに対しても指導に有効な資料を配付して、効果的なチーム・ティーチングが展開できるように進めていきたい。

【評価委員の意見】

<p>○町雇用による社会人T・Tの活用は、単に学力向上の機能をもつだけでなく、町と学校が支えあう学校づくりの一端にもなる事業である。また発達障害の子ども達が増えていく状況のなかで町雇用で特別支援員を配置していることも高く評価できる。特に特別支援に関しては、充実した研修を行っていることも心強い。一つ課題があるとすれば、中学生の学力(特に数学)にあまり向上が見られないことである。学力向上にとっては、あまり学力の低い子ども達の学力を上げることが求められるが、この事業はそうしたことへの対応にも生かせると思うので、今後とも工夫をして実施して欲しい。</p> <p>○全額町費で雇用された15人の社会人T・T、特別支援員をそれぞれの小中学校に配置し、学力の向上と情緒の安定を図るこの事業は、大洗町だからこそできることと高く評価する。その効果は、98%近くの保護者が町雇用の非常勤講師によるきめ細やかな指導ができていているとしているアンケート調査結果が示している。児童生徒の学校生活や家庭生活の姿から実感した回答と考える。魅力ある大洗町の教育を創出するためにも継続をお願いしたい。</p>
--

平成30年度 点検評価シート

No. 8

事務事業名	大洗マラソン サンビーチ・マイルレース事業	担当課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情・・・たくましく)
	施策	2	体力の向上と学校体育活動の推進
根拠法令等	スポーツ基本法		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	サンビーチ海岸を利用した、大洗ならではのマラソン大会を通して、青少年の健全育成及び幅広い年代の町民のスポーツ振興・健康づくりを推進する。 また、町外、県外から参加者を積極的に受け入れ、町の賑わいづくり、スポーツ振興に寄与する。
事業の対象 (誰を・何を)	子どもから大人まで幅広い世代を対象とする。(全15部門) 親子の部(小学生低学年以下)、小学生の部(学年男女別)、中学生の部(男女別)、高校生の部(男女別)、一般の部(男女別)、壮年の部(40歳以上)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( ) 平成29年度までは、サンビーチ内の防潮堤工事があり、コースを一部臨港道路を使用するなど工夫をしながら実施をしていたが、平成30年度は、防潮堤が完成したことに伴い、大洗海浜公園内とサンビーチの防潮堤を走るコースを設け、親子の部から壮年の部まで15部門を設定しマラソン競技を行った。 参加者の募集については、町内学校、周辺自治体、町ホームページや広報誌のほか、県央地区市町村広報誌や新聞等にも掲載を依頼した。 スポーツ推進委員・体育協会会員等、ボランティアスタッフの協力により係員を配置した。
事業の成果 (意図する成果)	・青少年の健全育成(小中高校生に参加により心身の向上を図る) ・生涯スポーツの振興(親子の部から壮年の部まで幅広く部門を設定し、参加しやすく親しまれる大会とする) ・地域の活性化(大洗ならではの大会を町外の方にも体験していただき観光的側面のPRを図る)

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	789千円	789千円	789千円	
	決算額(千円)	778千円	789千円	789千円	
	内訳	一般財源	789千円	789千円	789千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)	98.6%	100%	100%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	参加申込者数	1,243名	1,368名	1,219名
成果指標	小中高校生の参加	510名	543名	446名
	親子の部の参加	246組	237組	247組
	一般・壮年の部の参加	241名	351名	279名
効率指標	1人あたり単価	626円	656円	727円

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		青少年健全育成、スポーツ振興及び地域の活性化につながる事業として、ボランティアを中心に低予算で運営している。サンビーチの景観を活かしたコースや親子の部の設定などが参加者から好評を得ている。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		毎年、1,000名を超える参加者となっている。地域住民及びマラソン愛好者には定着した大会となっており、学生は部活動単位での参加、一般参加はリピーターが多くなっている。また、新にコースを設定した、サンビーチ内の防潮堤の舗装された周回道路を走るコースは、海を見ながら走れる、景観の良い走り易いコースと高い評価を得ている。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	B	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		参加費無料の大会で、低予算で運営しているが、スポーツ推進委員や体育協会会員などボランティアスタッフ約140名の協力によって運営が可能となっている。現在は、参加の受付をFAXまたは、直接、生涯学習課の事務所にとしているが、参加者が多く対応が難しくなっている。また、大会当日においても、ランナーのゴール時に人の手によるタイム計測を行っているが、混乱をさけるため自動計測にするなど、申込み方法等も含め、実施方法を検討していく必要がある。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input checked="" type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案、廃止・休止案等
申込み方法や参加者リストの管理及び計測の正確性、表彰までの流れと、効率的な方法を図るため、一部業務委託の導入を検討しながら事業の充実を図っていく。

【評価委員の意見】

<p>○大洗らしい手作りのマラソン大会であり、高く評価できる。ボランティアの活用も手作りにとって重要な意味をもっている。ただ一方で、働き方改革の時代において働く人の負担軽減もあるので、さらに運営については工夫を重ねてほしい。</p> <p>○サンビーチの大洗海浜公園と防潮堤を活用してのサンビーチ・マイルレースは、例年1200人を超える参加者と140人のボランティアスタッフの協力が、スポーツの振興と町の賑わい作りにつながり評価できる。予算も人員も限られた中、参加者も開催者も満足する充実した事業として継続していくためにも機材や運営方法を検討していくことは重要と考える。</p>
---

事務事業名	第74回国民体育大会開催推進事業	担当課	国体推進室
-------	------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情・・・たくましく)
	施策	2	体力の向上と学校教育活動の推進
根拠法令等	スポーツ基本法(平成23年8月24日施行)第26条(国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会)		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	令和元年9月に開幕する「第74回国民体育大会・いきいき茨城ゆめ国体」の大洗町開催競技について準備を進める。
事業の対象 (誰を・何を)	各種関係機関・団体及び全町民
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 ■ その他(実行委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町、議会、各種機関・団体等の参画による実行委員会を組織して事業を推進する。また、実行委員会内に運営委員会を設置して計画・要項など具体的な検討を行う。</li> <li>・役場内に庁内推進本部を組織して、実質的な運営について推進する。</li> <li>・茨城県や競技団体と十分に連携・調整を行い、円滑な運営が図れるよう取り組む。</li> <li>・先催県への視察や近隣市町村との情報交換を通して、調査・研究を進める。</li> <li>・花いっぱい運動や町内掲示物(のぼり旗、横断幕等)の設置、各種イベント等への参加、SNSの活用などを行い広報PRを推進し、町民に対しても、おもてなしや参加意識の向上を図り、大会機運の醸成に努める。</li> <li>・競技別リハーサル大会を実施して、業務内容の確認及び課題の整理を行う。</li> <li>・運営・広報ボランティア及び協賛企業・団体の募集を行う。</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大洗町開催競技を円滑に実施運営する。</li> <li>・全国から来県、来町される、選手や関係者をはじめとするたくさんの方々をおもてなしの心で温かくお迎えし、大洗町の魅力を感じていただくとともに、町民にも様々な形で大会に参加していただき、思い出に残る大会とする。</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	3,594千円	24,927千円	17,378千円	
	決算額(千円)	3,289千円	23,570千円	17,060千円	
	内訳	一般財源	3,289千円	23,570千円	11,270千円
		国県補助金	—	—	790千円
		その他	—	—	5,000千円
執行率(%)		91.5%	94.6%	98.2%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	実行委員会総会の開催	2月3日	6月19日	5月31日
	各専門委員会の開催	—	各2回(11月、2月)	12月5、6日
	庁内推進本部会議の開催	—	12月20日	12月27日
	(ビーチバレー)リハーサル大会の実施	—	—	7月29日
	(ゴルフ)リハーサル大会の実施	—	—	9月4日
成果指標	花いっぱい運動 花苗の配付数	—	15団体	33団体・23一般
	マスコットキャラクター・いばラッキーの活用	1回	16回	22回
	リハ大会におけるふるまいサービスの提供者数	—	—	約1,200人
効率指標	リハ大会ふるまい費用/提供者数	—	—	59円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	各種関係機関・団体及び町職員で構成される4つの専門委員会(総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通)において、各計画・要項等について審議した。 先催県への視察を行うとともに、資料や各種情報の提供を受け調査研究に努めた。 競技団体と連携し、本番を想定した競技別リハーサル大会を実施した。	
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている   B. 概ね上がっている   C. 上がっていない リハーサル大会をとおして、係員の従事内容の確認や課題を整理することができた。また、ふるまいコーナー(ドリンク、かき氷)の提供を行い、本番を想定した取り組みとするとともに、参加者等へのサービスを行うことができた。 花いっぱい運動の展開をはじめ、町内小中学生による「都道府県手作り応援のぼり旗」の作成など、町民参加の機会創出と気運醸成を図ることができた。	
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である   B. 概ね効率的である   C. 効率的でない リハーサル大会については、競技団体と連携して、既存の大会をリハーサル大会として行ったため、費用を抑えることができた。 広報PRについては、コストがかからないSNSやHPを活用して、効果的に展開している。 ボランティアの募集に加え、企業・団体からの協賛募集を開始した。	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
<input type="checkbox"/>	改善のうえ継続
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を拡大
<input type="checkbox"/>	事業を縮小
<input type="checkbox"/>	休廃止を検討
<input type="checkbox"/>	事業完了

⇒

改善案, 廃止・休止案等
令和元年度によいよ国体開幕を迎えるにあたり、平成30年度に行ったりリハーサル大会の課題を整理・改善して本番に臨む。 町職員、ボランティアなど運営に当たる係員の体制をしっかりと構築して、準備を万全にする。 炬火イベントなどをとおして、町民参加の意識のさらなる向上と大会気運の醸成を図る。

【評価委員の意見】

<p>○国民体育大会開催に向けての準備、大変だったことと思う。町民参加の機運を醸成できたことは重要な成果だと考える。</p> <p>○「花いっぱい運動」や「都道府県手作りのぼり旗作成」、「ふるまいコーナーの提供」など、町民それぞれができる役割を担いながら、町民一丸となって国体に参画することによりスポーツの振興を図ることは重要なことであり、参加者や応援者、来町者へのおもてなしの心は、思いやり溢れる温かな町作りにつながると考える。</p>
---

平成30年度 点検評価シート

No. 10

事務事業名	就学时健康診断事業	担当課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情・・・たくましく)
	施策	1	健康の保持・増進
根拠法令等	学校保健安全法		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	就学予定者に対しあらかじめ健康診断を行い、心身の状況を把握し、保健上必要な助言や就学についての適性な支援を行うことで、適切な就学を図ることを目的とする。
事業の対象 (誰を・何を)	町内に住所を有する次年度就学予定者
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>次年度就学予定者の保護者へ通知を行い、10月に大洗町健康福祉センター(ゆっくら館)を会場とし、学校医や小学校、幼稚園、保育園、教育センターの協力を得て、学校保健安全法に基づいた健康診断を行う。</p> <p>また、就学にあたって心配なことや特別な支援が必要な就学予定者について教育相談を実施する。</p>
事業の成果 (意図する成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学予定者の心身の状況について保護者及び本人の認識と関心を深めることで、入学時までに必要な治療を行ったり適正な健康管理を行ったりすることができる。</li> <li>・学校が入学予定者の心身の状況について把握することができる。</li> <li>・保護者の就学への不安を取り除く重要な機会となり、適切な就学を図ることができる。</li> </ul>

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	403千円	403千円	403千円	
	決算額(千円)	395千円	308千円	312千円	
	内訳	一般財源	395千円	308千円	312千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)		98.0%	76.4%	77.4%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	対象者数	121人	110人	118人
	協力者数	45人	43人	43人
成果指標	受診率	100%	100%	100%
効率指標	決算額/受診者数	3.3千円	2.8千円	2.7千円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
<p><b>妥当性</b></p> <p>(実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	<p>就学予定者の心身の状況を的確に把握し、就学にあたって保健上必要な勧告、助言を行うとともに、適切な就学を図ることは、就学事務を行う教育委員会の重要な任務である。また、教育委員会が主体となって実施することで、各小学校の負担を軽減することができ、さらに教育・保育関係機関と連携して実施しているため、情報共有や協力体制も充実し、町全体でスムーズな就学への支援を行うことができている。</p>	
<p><b>成果</b></p> <p>(意図した成果が上がっているか)</p>	A	<p>A. 上がっている B. 概ね上がっている C. 上がっていない</p> <p>受診率は100%であり、健診結果は入学時の生活及び健康管理面において貴重な資料となっている。また、保護者にとっても子どもの心身の発達について確認する機会となり、疫病等があった場合には、就学に向けて改善することができる。就学についての相談体制を整え、特別な支援が必要な就学予定者については、入学までにそれぞれに合った教育相談を継続して実施することで、適切な就学につながっている。</p>	
<p><b>効率性</b></p> <p>(コスト面等からみて効率的であるか)</p>	A	<p>A. 効率的である B. 概ね効率的である C. 効率的でない</p> <p>各小学校で実施するのではなく、教育委員会が主体となり、町の施設であるゆっくら健康館を利用して実施している。そのため、教職員全員で対応したり授業時間を削ったりする必要がなく、各小学校の負担軽減に繋がっている。したがって、本事業の効率性は非常に高い。</p>	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案, 廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○子育ての孤立化が生じやすい社会状況において、すべての就学予定者が受診を行っているということはすばらしいことだと思う。今後とも、さらになお一層の相談しやすい環境づくりをすすめてほしいと思う。

○就学事務は教育委員会の仕事ではあるが、多くは各小学校に任されている。就学予定者の健康診断を学校を使用せず、ゆっくら館で教育委員会が主体となって行うことは、学校の負担を非常に軽減する。また、当日、各小学校の関係教師が係員として協力することで就学予定者一人一人の心身の状況を共通理解でき、保護者も我が子の心身の状況を把握でき適切な就学に結びついていると高く評価する。

平成30年度 点検評価シート

No. 11

事務事業名	三人寄れば文殊塾	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	4	学校・家庭・地域の連携
	施策	1	学校・家庭・地域が連携した教育の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	体験活動ボランティアバンク「三人寄れば文殊塾」は、それぞれの分野で優れた知識や技術、豊富な経験を持った文殊塾に登録された地域の方々が、自然体験や社会体験、文化・スポーツ活動など様々な取り組みの中で、学校事業や子ども会事業、体験活動交流センター事業、大洗海の大学事業、学校地域連携事業などの各分野において、これらの活動に係るノウハウを伝授するとともに地域の方々と学びを通じた交流を通じ異世代間交流を行う。
事業の対象 (誰を・何を)	人材バンク「三人寄れば文殊塾」に登録された優れた知識や技術、豊富な経験のある地域の方々が、保育園・幼稚園・学校事業や子ども会事業、公民館講座など地域の中で、指導者やボランティアとして活躍している。
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 □ 町 □ 委託 □ 補助金 ■ その他(三人よれば文殊塾登録団体 体験活動ボランティアバンク「三人寄れば文殊塾」を活用し、町事業「サタデー文殊塾(サタモン)」では、小学生を対象に体験学習を実施し、体験活動の様々な取り組みの中で地域の大人との体験活動を通じた交流を介して、ルールやマナー、他者とのかかわりなどを学ぶ機会の充実が図られている。 また、他団体の総会などの際に周知し「三人寄れば文殊塾」の活用を促している。他方、公民館基礎講座講師の方などへ文殊塾への講師登録をお願いするなど、文殊塾登録者の拡充についても日ごろより努めている。
事業の成果 (意図する成果)	地域の優れた知識・技術を持った大人が、地域の子どもたちをはじめとする地域の人たちに目を向け、自分の出来ることを通して、積極的に地域の人々に関わることで、活動することができる場を提供するとともに、人々の体験学習の機会の充実も図ることができる。地域連携事業。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	-	-	-	
	決算額(千円)	-	-	-	
	内訳	一般財源	-	-	-
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)	-	-	-		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	文殊塾登録者数	100団体	100団体	101団体
成果指標	活動数	189回	263回	202回
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		「三人寄れば文殊塾」登録ボランティアを活用し、様々な体験の機会を提供している。体験活動交流センターだけでなく、中央公民館事業や学校事業においても活用し、体験活動に興味を持って気軽に参加できるよう留意し実施している。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		「三人寄れば文殊塾」登録者は、それぞれの優れた知識や技術、豊富な経験を地域の方々に伝え、それを教授する異世代の地域の方々との学びを通じた交流が生まれている。 年度末に行う交流会では、文殊塾全登録者に声かけし、多くの参加者のもと登録者と利用者において積極的な意見交換、発表が行われている。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		町は人材の登録およびその利用者との橋渡しを行っている。登録者のノウハウや経験が、それを必要とする利用者によく活用されており、また、そこに新たな交流も生まれることから相乗効果があり、効率性は高いと考えられる。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

<p>○地域が教育力を向上させていくことは重要なことであり、高く評価できる事業である。また異世代が交流する機会となっていることも重要である。もちろん、その活動は町民の方の主体性に任されるべきであるが、やはり町としてその橋渡しをすることで、さらに充実した事業になってほしい。</p> <p>○人間関係や地縁的なつながりがまだしっかり残っている大洗町で、学校、地域、家庭が相互に連携しながら地域社会全体で児童生徒を育てる目的をもつこの事業は、地域の様々な分野で優れた知識や技術、経験をもつ方々との交流を通してそれらを受け継ぎ、社会に生きる人間としてのルールやマナーなどを身に付けられると高く評価できる。</p>
---

平成30年度 点検評価シート

No. 12

事務事業名	大洗サイエンスカレッジ事業	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	5	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	2	科学技術教育の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	身近に科学施設が立地していることや原子力関連施設に携わる研究者や技術者などの人的資源が充実している環境を活かし、子ども達が科学に触れる機会を地域の専門家と協働して作り出すことで、科学の楽しさや面白さを伝えるとともに、好奇心や創造性を育み、科学する心を育てることを目的とする。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗小学校、南小学校に通う5・6年生(各学校定員20名)を対象とし、隔週で科学教室を実施することで平等な学びを提供する。
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( ) 児童が科学に関心を抱くような実験(水の電気分解の実験や静電気バンデグラフ実験など)を中心に授業内容を構成し、実験の過程や原理についても解説する。またサイエンスショーのような演示実験のみではなく、児童一人ひとりの実験セットを用意し自らの力で実験を行う環境を整えることで、より詳しく発展的に取り組めるようにする。
事業の成果 (意図する成果)	事業を通して、子ども達に科学に触れる機会を提供し、日ごろ体験することのできない科学の楽しさや面白さを感じ取ってもらうとともに、好奇心や創造性を育み、科学する心を育む。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	—	—	1,632千円	
	決算額(千円)	—	—	1,176千円	
	内訳	一般財源	—	—	1,000千円
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	176千円
執行率(%)		—	—	72.1%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	予定実施日数	—	—	30日
	募集児童定員数	—	—	40名(大洗小20:南小20)
成果指標	実施日数	—	—	30日
	参加児童数	—	—	37名(大洗小20:南小17)
	講師等協力者数	—	—	37名
効率指標	参加児童一人あたりの単位	—	—	31,784円

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		子ども達の学びの場を地域の科学館である、大洗わくわく科学館とし、地域の専門家の先生の指導を受けながら、多くの実験を通して子ども達が科学に触れる機会を提供するこの大洗サイエンスカレッジは、地域資源を活かした産学官連携の事業であり、本事業は妥当であると考えます。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		事業終了時のアンケート調査では、「様々な実験やその仕組みが分かり楽しかった」「もっと理科が好きになった」「またやりたい」などの回答となった。子ども達の生活の中にある不思議をテーマに、多くの実験に取り組む大洗サイエンスカレッジは、科学の楽しさや面白さを感じ取り、同時に好奇心や創造性を育み、科学する心を育てることに繋がっていると云える。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		子ども達の移動については、各学校から科学館まで社会福祉協議会のバスを利用することで、移動費コストを抑えている。また、一人ひとりの実験セットを用意し多くの実験を行う大洗サイエンスカレッジでは、多くの実験器具を使用する。ピーカーやプラスチック等、については、科学館から借用し、材料費等のコストを抑えている。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案, 廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒
(This area is empty in the original image)	

【評価委員の意見】

○茨城県も理数教育を重視しており、非常に重要な事業であり、また大洗町が充実した資源をうまく活用している事業であることから高く評価できる。バスの乗車人数の限界があったり、また実際に人数が集まらないということもあるだろうが、学校教育より自由に科学の楽しさに触れられる機会は重要であり、学びの本質や学びの楽しさに触れられるいい機会だと思うので、さらに充実させていただけたらと思う。

○小さな町であるが、研究者や技術者、施設などの資源にとっても恵まれている。その資源を生かして、児童とともに科学の楽しさおもしろさ、不思議さを体験し、自分の考えで工夫し解き明かしていく科学する心を育むこの事業は高く評価できる。

事務事業名	埋蔵文化財企画展事業	担当課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	5	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	3	伝統や文化を尊重し国際性を育む教育の推進
根拠法令等	文化財保護法、大洗町文化財保護条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	郷土の理解を深め、地域の活性化を図ることを目的とする。
事業の対象 (誰を・何を)	地域の児童生徒や住民、町外観光者。
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>平成30年11月17・18・23～25日、12月1・2・8・9・15・16日の限定11日間、第2回埋蔵文化財企画展【太平洋を見下ろす大洗の王墓】を開催。関連5事業(11月17日ギャラリートーク、25日おでいば山除草作戦、12月5日町内全小学6年生見学、9日磯浜古墳群史跡探訪・仮称五本松古墳現地説明会、16日講演会『太平洋を見下ろす大洗の王墓』)の開催。</p>
事業の成果 (意図する成果)	アンケート結果(規模を大きくして、常設展示にしてほしい。展示解説が良く、より展示物を理解できた。普通の博物館にはないオープンスペースで近くで見れて良かった。大洗町の弥生時代以降の様々な時代の展示も見てみたい。小学校を利用した展示は良い。今後も旧大貫小学校を会場として開催してほしい。住んでいる土地の歴史が理解できて良かった。など)の通り、肯定・建設的な意見を多くいただき、次回開催に繋がる成果が上がった。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	—	2,076千円	3,886千円	
	決算額(千円)	—	1,982千円	3,828千円	
	内訳	一般財源	—	1,016千円	2,181千円
		国県補助金	—	966千円	1,647千円
		その他	—	—	—
	執行率(%)	—	95.5%	98.5%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	会期日数	—	7日間	11日間
	関連講演会	—	4回	1回
成果指標	会期中の入館者数(全体)	—	579人(100%)	841人(100%)
	うち町民の入館者数	—	387人(66.8%)	396人(47.1%)
	うち町民の小中学生の入場者数	—	143人(24.7%)	145人(17.7%)
	会期中1日あたりの入場者数	—	82.7人	76.5人
効率指標	来館者1人あたりの経費	—	3,423円	4,552円

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		大洗町及び大洗町教育委員会が実施主体。考古資料を保管・管理し、文化財保護行政を所管するため、実施は妥当。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		大洗町内の児童・町民を中心とする総計850名弱の観覧・参加者を得、当初見込んだよりも多くの地域住民や児童生徒の見学が達成された。会期末の講演会では古墳群の評価はもとより、地域資源として活用面の議論が見られ、将来へ繋がる内容であった。またアンケート結果にあるように、観覧者への普及効果が見られ、意図を上回る成果が上がった。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		観覧者一人あたりのコストで計算すると4,500円強と高い金額であるが、地域の歴史を住民や学校区内の次世代児童へ継承していく内容からすれば、その教育的効果は計り知れないものがある。また、準備・受付・解説・関連事業のサポートなど、展示に関わる多方面で観光ボランティア「ほのぼの」の協力を受け、コスト面からみて効率的であった。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒
(空欄)	

【評価委員の意見】

○地域の郷土愛を育むことは重要な意味をもっており、評価できる事業である。平成30年度は企画展を開催することによって入館者を増やし、大洗町以外からの入館者も増えていること、小学校を有効活用して開催していることなど、今後とも継続してほしい点である。

○あえて常設展ではなく関連事業をまとめて11日間に凝縮しての実施は大変効果的であり、145人もの小中学生を含む多くの地域住民が入館していることは、子どもから大人まで、初心者から愛好家まで満足できる展示方法、内容であり、我が町の埋蔵文化財等に触れることにより地域への誇りと愛着が育まれることを高く評価できる。

平成30年度 点検評価シート

No. 14

事務事業名	大洗町立南小中学校共用体育館建設事業	担当課	学校教育課
-------	--------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	質の高い教育環境の整備
	施策	2	学校施設の整備と学校の組織運営の改善
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	児童生徒の安全を守り安心して豊かな教育環境を整備するとともに、地域住民の安全と安心を確保するため、耐震性及び面積が不足している既存南中学校体育館の改築を行う。
事業の対象 (誰を・何を)	南小中学校の児童生徒及び地域住民
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( ) 平成28年度に基本・実施設計を行う。平成29年度に工事契約(建築工事、電気設備工事、機械設備工事)を行い、平成30年度に工事を完了させた後に備品購入及び引越しを行い、既存南中学校体育館の解体工事を行う。
事業の成果 (意図する成果)	南小中学校共用で使用するための適正規模化を図りながら、教育環境を充実させると共に児童生徒の安心・安全な学校生活を実現させる。また、非常災害時の地域の屋内避難所を担う施設として、今後の防災拠点の役割を果たす。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	34,417千円	197,806千円	485,207千円	
	決算額(千円)	16,056千円	197,781千円	484,600千円	
	内訳	一般財源	5,156千円	3,978千円	21,922千円
		国県補助金	-	68,051千円	175,778千円
		その他	10,900千円	125,752千円	286,900千円
執行率(%)		46.7%	100%	99.9%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	設計完了	○		
	工事発注及び契約		○	
	工事完了			○
	備品購入及び引越し			○
	既存体育館の解体			○
成果指標	設計完了	○		
	工事発注及び契約		○	
	工事完了			○
	備品購入及び引越し			○
	既存体育館の解体			○
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<p>妥当性</p> <p>(実施主体・手段等は妥当か)</p>	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		<p>学校施設は子ども達が一日の大半を過ごす場であり、非常災害時には地域住民の屋内避難所となるため、安心・安全な施設が求められることから、今回の事業は妥当であると考えられる。</p>		
<p>成果</p> <p>(意図した成果が上がっているか)</p>	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		<p>平成28年度に学校及び関係各課との打合せにより設計を完了し、平成29年9月議会での承認により工事契約を行った。工程通りに工事を進捗させ平成30年10月に共用体育館が完成し、引越し、既存体育館の解体と年度内に事業を完了させることができた。</p> <p>その後の子ども達ののびのびとした活動を見ることができ、教育環境の充実と安心・安全な学校生活を実現させることができたと考えられる。また、耐震性能の改善だけでなく既存体育館の約2倍の広さを確保し、非常災害時には地域の防災拠点としての役割を果たすと考えられる。</p>		
<p>効率性</p> <p>(コスト面等からみて効率的であるか)</p>	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		<p>老朽化した体育館を再生する手段として、耐震補強や大規模改修という既存の機能更新をする手法もある中で、面積不足や今後の長期的な学校施設管理費を考慮し、小中共用で使用できるカリキュラムを視野に入れ共用体育館の建設を選択したことは、コスト面で効率的であると考えられる。</p>		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案, 廃止・休止案等
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

<p>○児童生徒、さらには地域住民の安全・安心のため、必要な事業である。小中学校共用の体育館とすることで、コストの効率を上げ、また広さを確保できたことなど高く評価できる。</p> <p>○小中学校共用の体育館として、災害時の地域の防災拠点として、広さも十分に確保された安全・安心な施設は、新たな教育カリキュラムの開発も期待でき高く評価できる。</p>
---

平成30年度 点検評価シート

No. 15

事務事業名	通学路の安全対策事業	担当課	学校教育課
-------	------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	質の高い教育環境の整備
	施策	3	子どもの安心・安全の確保
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	通学路の安全確保に向けた取り組みを行うため、関係機関との連携対策を構築した「大洗町通学路交通安全プログラム」に基づき、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	各小中学校の通学路
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <p>大洗町通学路交通安全プログラムに基づき、各学校において点検箇所(危険箇所)の抽出に取組み、道路管理者、警察署及び学校、教育委員会による合同点検を実施する。そして合同点検に基づく対策を実施し、通学路における安全を確保する。</p>
事業の成果 (意図する成果)	合同点検時に関係機関と対策内容を検討・実施し、さらには次年度の危険箇所抽出時に対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果等を把握することで、さらなる安全対策の内容改善・充実を図る。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	-	-	300千円	
	決算額(千円)	-	-	130千円	
	内訳	一般財源	-	-	130千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
執行率(%)	-	-	43.3%		

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	学校による点検箇所の抽出作業	概ね抽出できた	概ね抽出できた	概ね抽出できた
	点検箇所の合同点検	18箇所(100%)	14箇所(100%)	22箇所(100%)
	点検箇所の対策	12箇所(66.6%)	12箇所(85.7)	15箇所(68.2%)
成果指標	点検箇所における通学路の安全確保	18箇所(100%)	14箇所(100%)	22箇所(100%)
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		各学校から抽出された通学路の点検箇所に基づき、道路管理者、警察署及び学校、教育委員会が連携し、合同点検を実施することで、それぞれの立場、役割に応じた対策を的確に実施することが出来た。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		継続的な通学路の安全確保をするため、合同点検時に関係機関と対策内容を検討・実施し、さらには次年度の危険箇所抽出時に対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果等を把握することで、通学路の安全性向上が図られている。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		安全対策費用は、道路管理者、警察署及び学校、教育委員会それぞれの所管において支出するため、効果的且つ効率的である。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案, 廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

<p>○通学路の危険な箇所を把握し、対策を練るという本事業は、どうしても必要な事業である。対策がとれなかった箇所については、教師の協力のもと、交通安全指導によって対応しているということで、安全性は確保できているが、今後はさらに対策を講じてほしい。</p> <p>○安全確保のための対応は、道路管理者、警察、学校、教育委員会それぞれの機関で常に行われていることであるが、4者合同で児童生徒の通学路を点検することは、対策や効果等に共通の認識をもってあたることができ、また隠れた危険等への指導や助言にもつながるので高く評価できる。</p>
--

平成30年度 点検評価シート

No. 16

事務事業名	大洗町奨学資金給付・貸付事業	担当課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	安心して学べる室の高い教育環境づくり
	施策	4	学習環境の整備・充実
根拠法令等	大洗町奨学資金支給条例、大洗町奨学資金支給条例施行規則、 大洗町奨学生選考審議委員会規程		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	経済的理由で修学が困難な、優良な生徒・学生に対し、奨学資金の給付・貸付を行うことにより、有為な人材の育成を図ることを目的とする。
事業の対象 (誰を・何を)	①～④の要件をすべて満たしている方 ①大洗町内に1年以上居住する者の子ども ②当該年度に高等学校・国立高等専門学校・大学・短期大学に入学する者または在学する者 ③人物・学業ともに優良である者。(成績基準あり) ④経済的理由により、修学に困難があると認められる者。(収入基準あり)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( ) 広報誌・週報・町内放送・ホームページ・各学校への周知により案内する。 申請後、人物・成績・収入基準等について、奨学生選考審議委員会・面接会(高校生のみ)にて審査選考し決定する。大学生については、予約採用者の募集も行う。高校生は月額10,000円の給付、大学生は大学の区分や通学形態により月額40,000円・月額50,000円・月額60,000円の中から貸付金額を選択して貸付とし、正規の修業期間中は毎年審査を経て支給する。 大学生は卒業後1年据え置き返還開始となり、10年以内に全額返還する。Uターン就職等により大洗町に居住し就業している者(就業先は町外でも可)は、申請により当該年度の返還金を半額免除する。
事業の成果 (意図する成果)	・奨学資金の給付・貸付により、本人及び保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、生徒・学生の能力に応じた教育を受ける機会を与え、将来有能な人材の育成を図ることができる。 ・大学生の貸付金返還について、Uターン就職者等の返還金を一部免除することにより若者の定住促進を図ることができる。 ・周知方法の工夫、大学生の募集回数を増やすことにより、申請者の増加を図ることができる。

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	6,480千円	11,160千円	24,000千円	
	決算額(千円)	6,430千円	11,160千円	17,160千円	
	内訳	一般財源	3,070千円	2,520千円	1,200千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	3,360千円	8,640千円	15,960千円
執行率(%)		99.2%	100.0%	71.5%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	広報延べ回数	15回	15回	15回
成果指標	[高校生]採用者数/申請者数	8/8	3/3	2/2
	[大学生]採用者数/申請者数	3/4	13/14	10/10
	返還率(当該年度3月末現在)	98.04%	100.00%	95.74%
	Uターン就職等による返還一部免除者(額)	7名(696千円)	7名(696千円)	9名(864千円)
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		進学を目指す生徒・学生への支援として妥当である。毎年、在学・所得確認を行い適切に制度を運用している。募集については、平成28年度より高校への案内配布を行うとともに、ホームページでの願書取得を可能している。大学生については、受験前に奨学生として内定する予約採用者の募集の開始や、大学の区分や通学形態により貸付金額を選択して貸付可能とした。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		平成30年度は高校生(継続8名、新規2名)に給付、大学生(継続17名、新規10名)に貸付し、進学者家庭の経済的負担の一助となることができた。周知方法や募集時期の工夫により、大学生の申請者数を増やすことができた。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		大学生への貸付については大洗町教育振興基金により卒業生の返還金で効率的に運用している。返還者のうち遅延・猶予者はいるが、現在滞納者はいない。Uターン就職者等の返還免除分の基金積立については一般財源での対応となるが、町への定住につなげることができる。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案, 廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○平成30年度より、大学生に対して通学形態により奨学金の月額を変えて柔軟な対応をしようとしている点は高く評価できる。またUターン就職者に返金の一部免除を認めていることも、郷土性の育成という視点からも高く評価できる点である。さらに周知を徹底し、充実した事業にしてほしい。

○家庭の経済事情で高校や大学への進学が困難な生徒に、平等に学ぶ権利を保障され、安心して未来に希望をもって進めるこの事業は高く評価できる。さらに、Uターン就職者への返還金一部免除の措置は、若者の定住促進策として大変有効である。

平成30年度 点検評価シート

No. 17

事務事業名	図書室運営事業	担当課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	質の高い教育環境の整備
	施策	4	学習環境の整備・充実
根拠法令等	大洗町中央公民館管理規則		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	中央公民館図書室は地域の情報拠点であり、読書活動の推進拠点でもあるため町民が憩いながら生涯学習を進めることができるような場であり、また、子ども達の読書活動を推進するための場所、学生の勉強の場、大人の学習・情報収集の場所・環境を提供する。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町民や大洗町内在勤者
事業の手段 (どんなやり方で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、蔵書及び閲覧環境の整備強化を行い、図書室の機能充実を図っている。</li> <li>・貸出し冊数の増や開室時間の延長など利用促進のため拡充を行っている。</li> <li>・定期的な図書購入や整理貸出及び図書室だよりを発行し全戸配布を行っている。</li> </ul>
事業の成果 (意図する成果)	<p>子どもから高齢者まで様々な年代の人々が集う公民館において、施設規模の大きな図書館とは違った、“公民館の中にある身近な図書室”ならではのよさを広げられるよう利用者の生活に馴染んだ、立ち寄りやすい地域密着型の図書室運営を目指している。</p> <p>話題の本(DVD)や興味関心の高い図書などを定期的に購入し、幅広い年代の人のニーズに合った図書室とし利用者の増に繋げる。</p> <p>また、乳幼児への読み聞かせ推進事業「ブックスタート」の取組みは、図書を通して親子のふれあいの時間の創出にも寄与している。</p>

【事業費の推移】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算額(千円)	4,908千円	5,459千円	5,573千円	
	決算額(千円)	4,764千円	4,902千円	5,158千円	
	内訳	一般財源	4,764千円	4,902千円	5,158千円
		国県補助金	-	-	-
		その他	-	-	-
	執行率(%)	97.1%	89.8%	92.6%	

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	蔵書冊数	30,515冊	31,013冊	31,463冊
	購入冊数	662冊	824冊	602冊
成果指標	利用者数	11,002人	11,583人	12,709人
	貸出冊数	16,517冊	20,945冊	21,569冊
	貸出者数	6,734人	6,309人	6,632人
効率指標	決算額に占める利用者一人当たりの経費	432円	423円	406円

【自己評価】

評価項目	評価結果			
<b>妥当性</b> (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		図書館のない当町において、町民の生涯学習意欲の高まりや読書ニーズの多様化などに対応するため妥当性は非常に高い。今後も図書室の利便性向上のために運営の改善を行い、利用率の向上に努める。		
<b>成果</b> (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		H29年度から貸出冊数を5冊まで、開室時間を18時まで延长了ことが浸透し、H30年度については、対H28年度比で総貸出冊数は130.6%、利用者数は115.5%と大きく伸びた。		
<b>効率性</b> (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		図書館運営の規模と比すれば、少ない経費で大きな効果を発揮でき、費用対効果の面でも効率性は高いと考えられる。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	改善案、廃止・休止案等
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡大 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止を検討 <input type="checkbox"/> 事業完了	⇒

【評価委員の意見】

○地域密着型の図書室にしようとする試みを展開させつつ、利用者数、貸出数を増加させていることは高く評価できる。現代型の図書室(図書館)は情報全体の基地でもあるので、地域密着型の図書室であることを守りながらも、情報基地としての図書室という視点をもって、さらに充実させてほしい。

○知りたい情報や読みたい本もタブレットやスマートフォンから得ている姿が多い中、図書室の貸出冊数、利用者数ともに年々伸びている。これは購入図書を選定への配慮や図書室だよりの町内全戸配付などの見えない努力がある。親子読書や読み聞かせなどを通して本に親しむことは学力の向上、心の醸成につながり高く評価できる。

## 第4 評価委員からの総合評価・意見

### 【評価委員の意見 1】

全体として、大洗町の良さや手作り感を生かした事業が多く、行政担当者が限られている状況のなかで充実した事業を行っているという印象をもった。今後も、大洗町らしさを大切にしながら方向性を探りつつ事業の展開を行っていただけたらと思う。

今後は働き方改革への対応を迫られることもあり、事業の全体構造をどのように構築していくかを見据えて、各事業の見直しや事業内容の点検を行っていくことを求められると思う。組織の構造そのものが問われるのであり、再度全体を見通しながら事業計画を立てていただけたらと思う。

そのために、これまで同様 PDCA サイクルを意識し、客観的な指標で事業を評価していくことが求められると同時に、ますます大洗町の強み・良さを生かし、そこから成果を挙げていく AI アプローチ (Appreciative inquiry approach) に重点をおく事業の運用が求められることになるだろう。その際には、大洗町の「小ささ」、そしてその「小ささ」から生まれる手作り感を大切にしながら事業を守り、さらに充実させていくことを求められることになるはずである。もちろん、行政単位が小さいことにより、非効率的な経営になる危険性はあるわけだが、「小ささ」を弱点として捉えるのではなく、その「小ささ」を地盤とした人材養成を考えるとという視点を大切にしたいと感じた。

具体的な要望を述べるとすれば、

- ① 子ども達はもちろん、地域の人々の主体性を活かした事業を増やし、大洗町がこれまで以上に「私たちの町」と意識されるような事業を実施して行ってほしい。そのためには、広報活動を充実させたり、町民からの意見の聴取を行ったり、ボランティアを活用したりしながら事業の運営を進めて行ってほしい。
- ② 働き方改革の進行のなかで、どうしても効率が重視されるようになり、管理的な事業の運営が行われることになりやすいが、上記に述べた見直し等とおして、『小さな町』大洗の特徴を守った事業の運営を行ってほしい。

## 【評価委員の意見 2】

小さな町としてはとても配慮された教育費の予算と人や施設、自然等の資源を最大限有効に活用して、大洗町らしい未来に向かう教育が展開されていると感じる。特に、学校、家庭、地域の3者を連携させることで、互いに補完し合いながらそれぞれの活動を充実させている。

例えば、「図書室運営事業」では、「ブックスタート」の取り組みによって乳幼児と母親の時間を充実させ、母親が母親として成長することを後押し家庭力の向上につなげている。一方、学校における親子読書や「みんなにすすめたい一冊の本」の推進、町長・教育長表彰は必然的に親子の足を図書室へ向けさせることになる。図書購入においても常に様々なニーズを捉えた購入や、「図書室だより」での情報発信という見えない配慮で町民とのつながりを強めている。また、地域に潜在している専門知識や技能をもつ方々と子どもたちをジョイントした「大洗サイエンスカレッジ事業」や「三人寄れば文殊塾」、特別な知識や技能がなくても意欲のある方々がボランティアとして協力できる「大洗マラソン サンビーチ・マイルレース事業」や「埋蔵文化財企画展事業」など、事業の実施が参加関係者全員に充実感と生きがいを与える機会をつくりだし住民意識を強めるといった波及効果を生みだし、学校との連携は入館者数、参加者数に反映されている。これは小さな大洗町ならではの素晴らしい町づくりだと思う。

今、教育再生実行委員会の第6次提言で教育機関を核とした地域活性化を目指すこととしているが、大洗町は学校、保護者、地域住民が、教育委員会の事業を介してネットワークで一体となった、みんなが輝く大洗町らしいコミュニティスクールが築かれるものと期待している。